

岐阜農林事務所の普及活動状況

平成24年4月30日現在

今月の重点活動

■アスパラガス

アスパラガス栽培面積の拡大中

農業普及課では、JAぎふと協力してアスパラガス栽培希望者に対して、個別に作付け説明を行った。また、実際の栽培状況を知ってもらうため、モデルハウスを現地視察してもらうなど、新たな栽培者の取り込みに力を入れた活動を展開している。

新規栽培者 4名 ハウス面積20a増加（羽島市）

春芽アスパラガス収穫スタート

今年の春芽は、2月からの冷え込みが影響し、例年より10日ほど遅れ、3月16日から出荷を開始した。羽島市アスパラガス部会では「10アール当たり収量3トンを目指してがんばりたい」と意気込んでいる。

部会では土壌分析に基づいた適正施肥と、月一回の現地検討会を行い、農業普及課は収量増加に向けた指導を行う。



廃業農家のハウスをアスパラガス栽培に活用



春芽アスパラガスの出荷調整

主要農作物の生産振興

■米

羽島市で田植えスタート

管内のトップをきって、4月20日に羽島市桑原町大須で「あきたこまち」の田植えが始まっている。「あきたこまち」は約15haが栽培され、市内の造り酒屋で利用されるほか、JAぎふ直売店で販売される予定。

■小麦

出穂やや遅れ・赤かび病防除の啓発を実施

岐阜、羽島、本巣の小麦栽培地域では、JAと連携して4月中旬に出穂、生育調査を実施した。今年の出穂は昨年並みで平年よりは3～4日程度遅れ、4月19日頃となった。調査後、出穂後の赤かび病の防除についてJA・生産組織に情報提供し、防除啓発を行った。

■いちご

(過熟果対策とぎふいちごPR)

春先の高温により発生する過熟果1.4tをパウダー加工用に出荷した。農業普及課は、今後はパウダーを使ってもらえる方を増やすため、各商工業者との連携を強化して行く。

ぎふいちごPRのため、4月7日「道三まつり」において、岐阜市いちご部会青年部が販売PRを実施。また、4月17日には、長良川温泉若女将会がいちごの収穫体験と生産現場見学を実施した。



長良川温泉若女将会いちご収穫体験

■えだまめ

(出荷量 1,100 t を目指して栽培中)

今年度の出荷期間は、5月上旬から11月中旬で1,100tの出荷量が見込まれている。農業普及課では、害虫対策と農薬の安全使用を中心に指導を行っている。

■かき

接ぎ木による品種更新の推進

管内柿産地では、「刀根早生」「西村早生」から「早秋」「太秋」「富有」への品種更新を進めており、農業普及課が各地域で接ぎ木講習会を開催し、接ぎ木更新を進めている。

■花き

生育障害等について現地対応を実施

管内の花き生産者（3名）において発生した病害症状の現地確認を行った。原因究明のため、農業経営課（岐阜駐在）と連携し、対処方法など生産者への支援を行った。

担い手の育成・確保

■女性農業経営アドバイザー

岐阜ブロック新たな仲間が増える。

4月11日に恵那市にて県連総会と認定書交付式が行われた。岐阜ブロックからは新たに3名が認定され、平成24年は23名で活動する。



■青年農業士

岐阜地域青年農業士連絡協議会総会を開催

岐阜地域青年農業士連絡協議会では、4月12日に岐阜市内で平成23年度の総会が開催され、県外視察など今年度の事業計画が承認された。農業普及課は、青年農業士活動を活性化に向けた活動支援を行う。



青年農業市会総会風景

地域の動き等

■全城

FBC地方審査の実施

4月18日に学校花壇コンクール(FBC)の地方審査を実施した。参加8校の花壇について、花壇の設計・生育状況・教育上の利用などについて審査し、優秀な5校を中央審査に推薦した。



地方審査風景